

真心工房 伊藤建築

4story
bHOUSE

いつまでも自分らしく楽しむ

b HOUSE

4story

とは？

女性の「美」に対するこだわりを追及

b HOUSEのメインターゲットは女性。家で過ごす時間が長い女性が、美・おしゃれ・毎日を自分らしく楽しむ「キレイをつくる家」です。

b HOUSEの名称は

beauty [美] body [体]の頭文字

「b」をとり名づけられました。



外観デザイン

ウィンドーフィルムで装飾した、独創的な窓が美しいエレガントなデザイン

×

スキップフロアの空間構成

各フロアの高さを半階分ずらした、緩やかなスキップフロア。

家が広く感じられ、日常生活における動線も便利



外観は、ウィンドウフィルムで装飾した独創的な窓を用いたエレガントなデザイン。外壁に凹凸をつけることで建物に重厚感をプラスしました。

内観は3LDKの4階層構成。フロアーの高さを半階分ずらした緩やかなスキップフロアです。フロアーの高さを半階ずらすことで緩やかな高低差が生まれ、家が広く感じられます。上下に交わった空間は、家族も心地よくつながぎます。また、日常生活における動線もスムーズとなり、空いた時間はビューティタイムをじっくりと。フロアを4つ設ける事で、日常と「美を楽しむ空間」を切り離し、ゆったりと自分らしく過ごせる空間を確立させました。

コーディネートを楽しんで「すぐにいってきます」

1Fには、入浴後のボディケアやストレッチを楽しめるボディケアルームと、お洒落をゆったりと楽しむコーディネートルームを設けました。ルーティンを忘れて、洋服、バックアクセサリをじっくりとセレクト。メイクをして、コーディネート、フィッティング、バッグと小物をセレクト。コーディネートを楽しんですぐに「いってきます」



ずっと暮らす家だから。

・ **b HOUSE**は長く住みつなげる家を目指し、耐久性・耐震性・省エネ性能・維持・メンテナンスのしやすさなどを考慮した、長期優良住宅です。また、省エネ（使用電力を抑える工夫）と、創エネ（電気を作り出す仕組み）を組み合わせ、家での使用電力が概ねゼロになるゼロエネルギー住宅（ZEH）仕様です。毎日の暮らしから、家計と環境に少しずつ貢献します。

・ **b HOUSE**は、暮らし方に合わせた自由なカスタマイズが可能です。たとえば、広々としたバルコニーを設け下はガレージとして活用したり、車が眺められるインナーガレージを設けたり、セレクトショップのような贅沢な衣裳部屋を設けたい！など、様々な「憧れの暮らしかた」への対応が可能です。



ZEH（ゼッチ）仕様住宅です！

住宅からもエネルギー対策を。

資源エネルギー再生支援協会はこんな思いから、創エネ省エネ性能に対応した住宅プランの制作に取り組みました。

政府が掲げた「2020年までにネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）を標準的な住宅にする」という指針の影響もあり、住宅業界における省エネルギー住宅への対応が加速しています。

大手住宅メーカーのCMや新聞等でもZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）という言葉が盛んに使われるようになり、建築をお考えの方へもZEHという言葉が浸透してきています。しかしながら、基準の複雑さや、建築コスト面、建築側の手間などから、建て手側の対応が追いついていないのが現状です。

資源エネルギー再生支援協会が取り組んだ事

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）長期優良住宅仕様に対応した住宅プランは、それぞれの基準をクリアする設備・仕様をスペックインし、お客様へアピールする広告宣伝素材から設計、建築、申請等、建設手間を軽減する図面や資料を取りそろえました。

勿論、スペックだけを組み入れた家ではありません。まずは、お客様が建てたい家であること。住宅建築をお考えの方のニーズ分析や、外観のデザイン、間取りにも工夫を凝らし、お客様の「こんな家に住みたい」と建築側の「建てやすさ」、二つを一つにした住宅となっています。

そもそもZEHってなに？

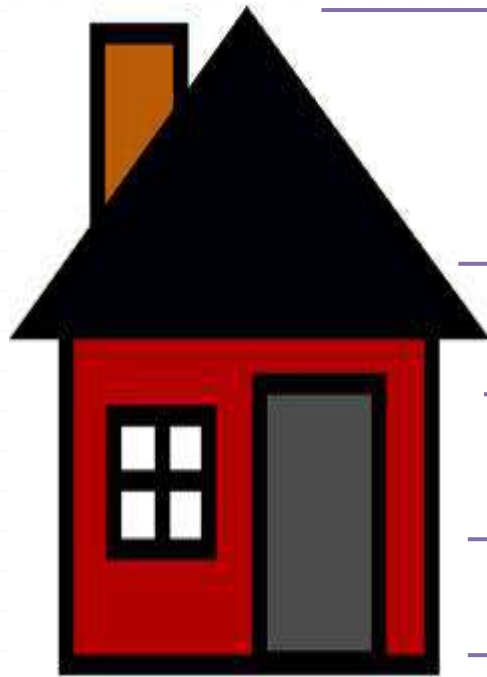
ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略で、一次エネルギーの年間消費量より、住宅で作り出したエネルギーの方が多い、もしくはその差が正味(ネット)ゼロになるエネルギーを自給自足する住宅の事です！ **家庭の究極省エネ手段です！**

2014年4月に政府が閣議決定したエネルギー基本計画の中で、2020年には標準的な新築住宅をネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH=Net Zero Energy House)とすることを目標に掲げられたことにより、ZEHの普及が加速し始めています。

消費エネルギー — (省エネ+創エネ)

= 1年間の消費エネルギー **0以下!**

• 普通の住宅



冷暖房設備

照明設備

給湯設備

空調設備

• ZEH仕様住宅



省エネ
効果

創エネ
太陽光発電
自家発電電気量

ZEHにする理由は？

- ・「ZEH」に力を入れている理由は、政府が押し進める、「2020年までに「ZEH」を標準的な新築住宅とする」といった構想を挙げました。さらに、2030年までには新築住宅の平均で「ZEH」を実現し、2050年には全ての住宅を「ZEH」とすることを目標にしています。その推進のために、経済産業省はZEH支援事業を展開しており、「基準を満たせば130万円」の補助も受けられます。

「ZEH」はEUやアメリカなども導入を進めており、電気代の削減だけでなく、普及することで低炭素社会実現の一助になると期待されています。

ZEH仕様の住宅にするには？

エネルギーを創り出し、住宅を快適な環境にする

石油・天然ガスなどの化石燃料や水力、太陽光などの自然エネルギーを活用した発電などエネルギーを創り出すが、戸建て住宅の場合は主に太陽光発電が多いです。太陽光発電で創り出した電力が家で使う電力をゼロに出来れば**ZEH**と言う事です。しかし、太陽光発電だけに頼るとなかなか難しい面もあります。そこで大切になってくるのが、家で使う電力自体の削減です。

使用電力を削減するためには、建物自体の**断熱性の向上**や**省エネ性能の高い設備機器**を備える必要があります。例えば、断熱性の向上では外張り断熱や複層ガラスなどの採用。省エネ性能が高い設備機器ではLED電球や消費電力が少ない家電などを導入。また、家中の電力を見える化にして節電に一役買う**HEMS**（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）などが取り入れるのが一般的です。

見えるかして節電するHEMSとは？

HEMSと書いて「ヘムス」と読みますが、これはHome Energy Management System（ホームエネルギーマネジメントシステム）の略。（家庭のエネルギーを管理するためのシステム）管理することによって省エネを行うことを目的とした機器であったり、機器とともにコンピュータやネットワークなどを組み合わせたシステムでもあります。

HEMSは外出先でもスマートフォンなどからチェックすることができます。電力が一定値以上使われた場合に、指定したメールアドレスにメールが届くなど、お子様が帰ってきたかどうかを確認できるような設定ができる製品もあります。また水道が24時間以上使われていないと、指定したメールアドレスにメールが届くなど、遠くはなれて暮らすご高齢のご家族との安心感をもてる製品もあります。

HEMSで行う「見える化」によるメリット

HEMSを導入するメリットは大きく分けて「見える化」と「自動制御」の2種類です。

まずHEMSの基本は、エネルギーの見える化です。見える化とは文字通り、見えるようにするというわけで、電気に絞っていえば、電気の使用状況を専用のカラーディスプレイやパソコン、またはスマホなどで表示させるのです。

「電力会社に取り付けている電気メーターだって、使用状況が見えるではないか」と指摘される方もいると思いますが、電気メーターとHEMSの見える化の大きな違いは、瞬間値だけではなく、時間ごと、日ごと、月ごとの変化が見えるという点でしょう。つまり、今日の午前中どのくらいの電気を使ったのか、18時～20時でどのくらい使ったのか、さらには先月と今月の使用量の違いがどのくらいなのか、といったものをグラフや表などで簡単にチェックできるのです。また、kWh使用量だけだとなかなか実感しにくいですが、それを金額で表示させることもできるため、よりリアリティーのある数字で見ることがもできます。

HEMSで見える化できるのは、家庭全体の電気使用量というだけでなく、各部屋ごとの使用量をチェックできるというのも大きなポイントです。

もちろん、どれだけ細かく分類できるかは導入するHEMSによって異なるので、一概に言えませんが、細かくすればより多くの情報が得られるのです。

家庭での電力の「見える化」による一日当たりの省エネ効果は10%程度とされています。（財団法人省エネルギーセンター調べ）

HEMSを設置すると、太陽光発電量や蓄電池の電気使用量、家庭内の電気の利用状況をモニターで簡単に確認できるため、それぞれのライフスタイルに合わせて無理なく節電することができます。この見える化を実現することによって、普段は気づかないエネルギーの無駄遣い、もっと節電可能なポイントなども見えてきます。

HEMSによる自動制御でより積極的な省エネを

HEMSの活用をさらに推し進めるのが自動制御です。これはさまざまな条件、状況をもとに、エネルギーの使用量をコントロールしようというものです。たとえば、エアコンの電源のオン・オフや温度設定、風量設定などを効率よく行うことで、より省エネ対策ができます。

でも、「それってエアコンのリモコンで操作できるのでは？」と思われるかもしれません。確かに似た機能ではあるのですが、より積極的なコントロールができるのがHEMSです。たとえば「電気代も高いピーク時間帯は設定温度を2度上げて、ピーク時間帯を過ぎたら元に戻す」、「家庭の使用電力が30Aを超えたらリビングのエアコンはストップさせる」、「月間の電気代が一定量を超えたら、エコモードでしか作動させない」…といったようにコントロールを行うことで、より効率よく、そして積極的に省エネを推し進めることができます。

HEMSによる自動制御は、単にHEMSを導入すればコントロール可能になるわけではなく、HEMSからの指示を理解し、それに従って動くような機能を家電側が備えてなければならないのです。現在、日本の家電メーカーが中心となってECHONET Liteという通信規格が標準化され、ECHONET Liteに対応した家電も登場してきています。この機能が備わったエアコン、テレビ、照明、調理器具…といったものが普及し、お互いにHEMSと通信しながら効率よく電気を使う仕組みが整えば、現在より格段に省エネができるようになるはずです。

ECHONET Liteとは？

ECHONET Liteとは、HEMSがスマートメーター、家電、電気設備と相互にデータ通信するための共通の通信規格です。異なるメーカーの機器であっても、相互に接続・制御することができるように通信規格の標準化が重要で、右記機器の標準化が先行して検討されています。



※「ECHONET Lite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。

これからの HEMS の動向

エネルギー問題の解決のため、これから、スマートメーターやHEMSの導入が検討されています。**2030年**までに、**HEMS**が全世帯に設置される予定です。



出典:平成24年「グリーン政策大綱」(内閣官房 国家戦略室)より

b HOUSE住宅スペック

- 延床面積 103.93m² (31.43坪) / 1階床面積 50.93m² (15.40坪) / 2階床面積 53.00m² (16.03坪) / 建築面積 53.00m² (16.03坪)
- ベタ基礎/木造軸組工法/オール電化/太陽光発電システム搭載/蓄電池/高性能樹脂窓/オールLED照明
- 長期優良住宅対応/ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) 対応

外観 ガレージあり



外觀



内観 LDK



コーディネートルーム



スキップフロアイメージ



パウダールーム

